

# 北九州市 ネイチャーポジティブ経営シンポジウム

2025年11月14日 (金) 14:00-16:30 | JR九州ステーションホテル小倉・飛翔の間

## PROGRAM

主催：北九州市 | 共催：公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)

14:00 開会挨拶 北九州副市長 大庭 千賀子 Chikako OBA



14:10 基調講演 『生物多様性の“かけがえのなさ度”と北九州市の挑戦』



(株)シンク・ネイチャー代表取締役 CEO 久保田 康裕 Yasuhiro KUBOTA

北海道大学卒業、帯広畜産大学院修士課程修了、東京都立大学院博士課程修了。フィールドワークとビッグデータ&AIを統合して生物多様性を見える化、サイエンス誌やネイチャー誌をはじめとした一流学術誌に多数の論文を発表。最先端の科学的アプローチで自然を可視化する「株式会社シンク・ネイチャー」を起業し、自然資本への投資が評価され豊かな社会経済へと繋がる世界の実現に挑戦中。

14:50 話題提供① 「ネイチャーファイナンスの最前線」



三井住友信託銀行(株)フェロー役員 金井 司 Tsukasa KANAI

1983年住友信託銀行に入社。2003年にサステナビリティ部署の創設に携わり、一貫して当該業務を担う。SRI、インパクト・ファイナンス、テクノロジー・ベースド・ファイナンスなどの業務を立ち上げる。

15:10 話題提供② 「日本企業のネイチャーポジティブへの取り組みの最新動向」



IGES 生物多様性と生態系サービスユニット副ディレクター 高橋 康夫 Yasuo TAKAHASHI

北海道の湿原や小笠原諸島、アフリカ・マラウイの国立公園やエチオピアの森林保護区、インドの里山など、国内外の様々なフィールドで研究や保全活動の実践に従事。人と自然との関わりを科学する社会・生態システム研究を軸に、研究活動や政策提言を行っている。

15:20 休憩

15:25 パネルディスカッション『北九州市内企業・団体が語る、私たちのネイチャーポジティブへの取り組み方』

ファシリテーター：生田 美生 Mio IKUTA IGES 北九州アーバンセンター 研究員

### パネリスト



栢野 亮 Wataru KAYANO

(株)TOMUSHI  
取締役 最高戦略責任者

小学生は北海道で過ごし、キャンプ、釣り、虫取りに没頭。関西の大学を卒業後、2019年光通信に入社。統括部長まで上がるも、本当に面白そうな会社、TOMUSHIを見つけ2025年1月に転職。CFOを務める。



高村 賢治 Kenji TAKAMURA

九州電力(株) 北九州支店  
副支店長 兼 企画・総務部長

平成4年北九州支店入社。資機材の調達・管理業務に従事し、環境配慮製品の導入や取引先との連携によるグリーン調達を推進。大分支店では坊がつる野焼きなどの環境保全活動に携わり、ボランティアの意義を実感。令和6年3月より現職。



服平 響 Hibiki FUKUBE

TOTO アクアテクノ(株)

令和4年にTOTOアクアテクノ株式会社へ入社。令和5年より小倉総務課に所属し、協働する東朽網校区まちづくり協議会との社会貢献活動の窓口を担当。定例会やボランティア活動に積極的に参加している。



利光 央 Hiroshi TOSHIMITSU

東朽網校区まちづくり協議会  
会長

平成24年頃から東朽網校区のまちづくり計画の策定に係る。平成28年から東朽網校区まちづくり協議会副会長、同30年から同会長。現在に至る。ネイチャーポジティブに繋がる地域環境保全活動としては校区の水晶山を水源とする朽網川、昭和池、河口域、曽根干潟の清掃活動等を継続している。



安枝 裕司 Yuji YASUEDA

響灘ビオトープ  
園長

響灘ビオトープの園長、自然環境保全を実践するNPO法人の役員、さらにはホップを使ったまちづくりを推進する響灘ホップの会の事務局など、多面的な立場で北九州市のネイチャーポジティブ実践に務める。



平井 良知 Yoshitomo HIRAI

北九州市環境局総務政策部  
ネイチャー・ポジティブ推進課 課長

平成14年4月に北九州市役所入職。環境局廃棄物指導課、環境局環境産業政策室、環境局地域エネルギー推進課等を経て、令和7年4月に環境局ネイチャーポジティブ推進課長に就任。

16:25 閉会挨拶 北九州市環境局 局長 木下 孝則 Takanori KINOSHITA

16:30 閉会

本シンポジウムでは、「ネイチャーポジティブ経営」に関する国内外の最新動向を共有し、多様な立場からの意見交換を通じて理解を深めていくことを目的としています。議論の中では、専門的な用語や国際的な概念が多く登場することが想定されるため、ご参加の皆さまの理解の一助となるよう、用語解説集を作成いたしました。ぜひ、本資料をプログラムの理解や今後のご参考にお役立ていただければ幸いです。

## ネイチャーポジティブ

日本語訳では「自然再興」といい、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことを言います。これまでの自然環境保全の取組だけでなく、経済から社会、政治、技術までの全てにまたがって改善を促していくことで、自然を豊かにし、プラスの状態にしていこうという考え方です。

## ネイチャーポジティブ経営

企業が自社の価値創造プロセスにおいて、自然の保全の概念を重要課題として位置づけた経営のこと。ネイチャーポジティブは、自然の回復力も含めてその実現を目指すことから、「ネイチャーポジティブ経営」とは、ネイチャーポジティブを“実現した”経営ではなく、ネイチャーポジティブを“目指す”経営であると言えます。

## ネイチャーポジティブ経済移行戦略

2024年3月に環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省の連名で策定・公表された戦略のこと。「ネイチャーポジティブ経営」への移行の必要性や、移行に当たって企業が押さえるべき要素、新たに生まれるビジネス機会の具体例、そしてネイチャーポジティブ経営への移行を支える国の施策について、具体的に示しています。

## トレーサビリティ

「追跡可能性」の意。本来は、食品の安全を確保するために、栽培や飼育から加工・製造・流通などの過程を明確にすることを言い、その仕組みを指すこともあります。

## サプライチェーン

原材料としての資源が採取されてから、製品として最終消費者に届くまでの、生産、加工、流通等の供給プロセスのつながりのことを言います。国内の生産活動は、サプライチェーンを通じて国内外の環境に影響を与えています。環境負荷を低減し、自然資源を将来にわたって利用するためには、持続可能なサプライチェーンを構築する必要があります。

## 自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)

2021年6月、企業活動に対する自然資本及び生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価し、開示するための枠組を構築する国際的なイニシアティブとして、『自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD)』が設立されました。既に取組が進んでいる「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」に続く枠組で、企業における自然関連リスクや機会に関する情報開示の仕組みを整えることにより、資金の流れをネイチャーポジティブに向かわせることを目指しています。

## グリーンファイナンス

サステナビリティ・リンク・ローン(借り手が野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPTs) を達成することを奨励するローン)、サステナビリティ・リンク・ボンド(発行体が事前に設定したサステナビリティ/ESG目標の達成状況に応じて、財務的・構造的に変化する可能性のある債券の総称)およびインパクトファイナンス(適切なリスク・リターンを確保しつつ、環境・社会・経済にポジティブなインパクトをもたらすことを意図したファイナンス)のこと。

## ESG

環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字をとった言葉で、企業が持続可能な経営を行うために考慮すべき3つの要素とされています。これらの要素を重視する投資を「ESG投資」と呼び、企業の長期的な成長性やリスクを評価するための重要な指標とされています。

## ランドスケープアプローチ

一定の地域や空間において、土地や空間の計画を軸に、人間の活動と自然環境を総合的に捉えながら、課題の解決を目指す手法です。たとえば、森林を保全しながら、農業や観光などの活動も持続可能にするために、行政・企業・地域住民などの関係者が協議を重ね、土地利用のあり方を調整していくような取組が該当します。複数の生態系が関わる地域では、生物多様性の保全と持続可能な利用の両立が求められ、その実現には多様なステークホルダーの参画と協働が重要とされています。



## 生物多様性条約

(Convention on Biological Diversity: CBD)

希少種の取引規制や、特定の地域における生物種の保護を目的とする既存の国際条約(ワシントン条約やラムサール条約など)を補完し、生物多様性を包括的に保全するとともに、生物資源を持続可能に利用するための国際的な枠組として、本条約は1992年5月に採択され、1993年12月に発効された条約です。この条約に基づき、1994年からは「生物多様性条約締約国会議(COP)」が開催されています。

## 昆明・モントリオール生物多様性枠組

2022年12月に開催された『生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)』にて採択された、生物多様性に関する世界的な目標です。この新たな枠組は、「2050年ビジョン」「2030年ミッション」「2050年グローバルゴール」「2030年グローバルターゲット」などによって構成されています。

## 30by30目標

2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる(いわゆるネイチャーポジティブ)という目標に向けて、陸域および海域の30%以上を健全な生態系として効果的に保全することを目指す国際的な目標です。この目標は、「昆明・モントリオール生物多様性枠組」(上記)に盛り込まれました。日本国内においても、この目標の実現に向けた道筋と具体的な取組を示す「30by30ロードマップ」が2022年4月に公表されています。

## 自然共生サイト

民間の取組などによって生物多様性の保全が図られている区域のことを指します。環境省は、こうした区域を「自然共生サイト」として認定する制度を2023年度から開始しました。

## OECM

(Other Effective area-based Conservation Measures)

公的な保護地域以外であっても、生物多様性の保全に実質的に貢献している地域のことを指します。日本においても、自然資源の管理が行われている企業所有地などを生物多様性保全に寄与する区域として認定する制度が検討されています。OECMの具体例としては、企業緑地、豊かな自然を有する都市公園、社寺林などが挙げられます。

## 生態系サービス

私たちの暮らしは、食料や水の供給、気候の安定など、生物多様性を基盤とする生態系から得られるさまざまな恵みに支えられています。これらの恵みは総称して「生態系サービス」と呼ばれています。国連が発表した「ミレニアム生態系評価報告書(MA)」では、生態系サービスは「供給サービス」「調整サービス」「文化的サービス」「基盤サービス」の4つに分類されています。

## ビオトープ

本来その地域に生息する多様な野生生物が暮らすことのできる空間のことで、「生物の生息空間」と訳されます。干潟、湿地、湖沼、河川などの水域や、里山林、草原など、地域の自然を生かしたさまざまなビオトープが各地で整備されています。



# もっと自然とつながる 「北九州ネイチャーポジティブセンター」

都市のすぐそばに自然がある——それが北九州の魅力。市の「生物多様性戦略」では、市内の自然・環境系の10施設を「ネイチャーポジティブセンター」として位置づけました。自然を「守る」だけでなく、「見て」「知って」「感じる」ことができる、地域の自然とのふれあい拠点です。

A

【自然共生サイト】



北九州市若松区響町一丁目  
JR小倉駅から車で約20分

B



北九州市八幡東区東田2-2-6  
JR小倉駅から車で約20分

C



北九州市小倉北区上到津4-1-8  
JR小倉駅から車で約10分

D



北九州市小倉北区船場町1-2  
JR小倉駅から徒歩約10分

E



北九州市小倉北区熊谷2-5-1  
JR小倉駅から車で約15分

F



北九州市小倉南区平尾台1-1-1  
JR小倉駅から車で約40分

G



北九州市小倉北区山田町  
JR小倉駅から車で約15分

H



北九州市八幡東区東田2-4-1  
JR小倉駅から車で約20分

I



北九州市若松区竹並1006  
JR小倉駅から車で約25分

J



北九州市八幡西区香月西4-6-1  
JR小倉駅から車で約35分



次のページから各施設を詳しくご紹介しています！



住所	北九州市若松区響町一丁目126-1
アクセス	若松駅から車で約20分、小倉駅から車で約30分（都市高速利用）
営業時間	9時～17時（入園は16:30まで）
入園料	一般100円、小・中学生 無料、団体料金有、年間パスポート有
休園日	毎週火曜日（ただし、火曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始
駐車場	無料（普通車65台）

公式ウェブサイト



<http://www.hibikinadabiotope.com/>

## どんな施設？

市民が生物多様性に配慮しながら自然とふれあえる魅力ある自然環境学習拠点として2012年に開園しました。響灘地区にある廃棄物処分場跡地に誕生した日本最大級の広さ約41haのビオトープで、都市と都市と自然が近接するアーバンネイチャー北九州のシンボリックなスポットの1つです。ビオトープ園内にはベッコウトンボ(昆虫類)やチュウヒ(鳥類)など国の絶滅危惧種に指定される希少生物の他に、カヤネズミ(福岡県準絶滅危惧)、タヌキ、イタチなどの哺乳類も生息しています。見晴台からは広大なビオトープ越しに洋上風車も見えます。



ベッコウトンボ



チュウヒ

## 何ができる？

### ●草地・湿地ならではの生物観察

全国的に減少する草地・湿地は動植物の大切な住処の1つ。ここならではの生物を観察しよう！

### ●貴重な生物との出会い

ビオトープで確認された生物の中には絶滅が危惧される生物もたくさんいます。出会えたらラッキー！

### ●スタッフと巡るガイドツアー

スタッフがガイドしながら巡ります。（要事前予約）

### ●四季折々の講座、イベント

四季ごとの特色ある講座やイベントに参加して自然を体感しよう！

### ●ネイチャーポジティブ最前線

ネイチャーポジティブって何？まずは響灘ビオトープへ

### ●みんなで守るビオトープ

市民参加型で生物を守る取組を気軽にできる！

### ●ここにしかない映えスポット

ビオトープの草原・湿地、大型風車、工場が同じアングルで見られる場所は全国でも珍しい！

### ●企業様のネイチャーポジティブ推進支援

企業様の独自のネイチャーポジティブ推進に関する取組を支援します。

## お問い合わせ先

### 響灘ビオトープ

〒808-0021 北九州市若松区響町一丁目126-1 | TEL:093-751-2023 | メール: info@hibikinadabio.jp

住所	北九州市八幡東区東田2丁目2-6
アクセス	JR鹿児島本線『スペースワールド駅』下車、徒歩約10分
営業時間	9:00～17:00（最終入館は16:30）
入館料	無料
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日）、12月29日～1月3日
駐車場	東田博物館ゾーン共同駐車場（いのちのたび博物館横）をご利用ください。

公式ウェブサイト



<https://virtual-eco-museum.com/>

## どんな施設？

2001年に開催された北九州市博覧祭のパビリオンとして誕生以来、環境学習、環境活動、交流の機会と場を提供しています。北九州市の公害克服の歴史、環境政策、世界の環境問題、市民・企業の環境保全活動について「見て・触れて・楽しみながら学べる」施設です。

「SDGs未来都市」または「環境首都」として名高い北九州市の歴史を学び、地球市民として、一人ひとりがこれからのあり方を考え、行動するきっかけとなるような体験学習プログラムを用意しています。



## 何ができる？

### ●北九州市の公害体験を知るガイドツアー

北九州市の公害について、その状況と環境を改善させた取り組みについて専属ガイドが解説します。

### ●SDGsや環境問題をテーマにした学習

幼稚園から社会人教育施設まで、ご要望に合わせた環境学習プログラムを用意いたします。

### ●自然や環境について学べるワークショップ

空き缶を使ったバイクの模型作り、生き物の模型に色を塗るイベントなどを定期的に開催。また、お菓子の袋やチラシなどを使ったエコ工作を毎日開催。

### ●エネルギーや環境問題を学ぶ実験

酸性雨が降る仕組みや、水素発電の仕組みを実験を通して体験的に学べます。

### ●会議室の利用

多目的ホール（84名）、ドームシアター（70名）、実習室（30名）のご利用が可能です。

### ●エコをテーマにしたイベントへの出展

毎年6月に開催する未来ホテルデーへの出展や、自社の環境活動を紹介する展示の実施、ワークショップの開催が可能です。

## お問い合わせ先

### タカミヤ環境ミュージアム

〒805-0071 北九州市八幡東区東田2丁目2-6 | TEL:093-663-6751 | メール: [info@eco-museum.com](mailto:info@eco-museum.com)



住所	北九州市小倉北区上到津4-1-8
アクセス	北九州都市高速道路 山路ランプより車で約15分
営業時間	9:00～17:00
入園料	大人 800円、中高生 400円、4歳から小学生 100円
休園日	火曜日(火曜日が祝日の場合は水曜日)
駐車場	あり(普通車 600円、バス 1,000円)

公式ウェブサイト



<https://www.itozu-zoo.jp/>

## どんな施設？

町中にありながら、古くからの大木も多い緑豊かな園内で、約80種の動物が自然に近い環境の中でのびのびとくらす様子を見ることができる動物園です。

かつての動物園はレジャー施設としての側面に重きを置いた場となっていました。しかし、現在の動物園は、生き物や地球全体の環境が持続的に良好となる世界を目指し下記のような取り組みを行っています。

1. 生物多様性の保全  
生息域内・域外の希少種の保全
2. 環境学習と保全教育の推進  
動物園を訪れる人々への環境学習と保全教育の実施
3. 地域社会との協働  
地域の自然環境の保全活動

到津の森公園では、特に希少種の繁殖や下記のような環境教育活動等を行っています。



## 何ができる？

### ●到津子ども自然塾

小学校高学年～中学生を対象に、到津の森公園の自然環境を最大限に活用した自然教室。生きもののすみかを作ったり、豊かさについて考えたり、生物多様性についてより深い学びを目指した連続講座型のプログラム

### ●モルモットふれあい教室(※要電話予約)

飼育スタッフと一緒に動物との関わり方、接し方を考え、学んでいきます  
全営業日 13:30・13:45・14:00・14:15 の4回実施  
1週間前から予約可  
料金:1人200円(付添は無料)

### ●環境学習プログラム

園内の動物や環境を教材に、座学と体験活動を通して、生命や環境などについて学んでいただく教育プログラムです。北九州市内および近郊の小学校を対象に実施しており、2005年の開始以降、累積で800校6万人以上の児童たちが参加しています。

### ●自然教育イベント

園内に生息している生物を探して観察する「いとうづの森調査隊」や、「野鳥観察会」など自然教育イベントも随時行っています。

当園の活動に賛同し、運営をサポートしていただける企業様を募集中。詳しくは到津の森公園へお尋ねください

## お問い合わせ先

### 到津の森公園

〒803-0845 北九州市小倉北区上到津4-1-8 | TEL:093-651-1895 | メール: itozu@kpfmmf.jp

住所	北九州市小倉北区船場町 1 - 2
アクセス	JR小倉駅・西小倉より徒歩 8 分
営業時間	10:00～19:00
入館料	無料
休館日	毎週火曜日、年末年始
駐車場	無し

公式ウェブサイト



<https://mizukannyoukan.jp>

## どんな施設？

2000年7月にオープンした水環境館は、小倉北区の中心市街地を流れる紫川沿いに川・自然・環境について楽しく遊んで学べる施設として、紫川の中を覗ける地下に建設されています。

特に目を引くのは、巨大なアクリル窓から刻々と変化する川の様子が観察できる「河川観察窓」の存在で、自然の神秘「塩水くさび」を服を着たまま観ることができる体験型学習施設です。また、紫川流域の水性生物を中心に90種、400匹を展示してする生物展示施設です。

最近は、川での体験活動に力を入れるようになり、コーナー体験や生き物調査、川ながれ体験等を行ない、館内で学習し川で実際に体験することにより、川のことを深く学び、身体で自然環境理解をできる施設を目指しています。



## 何ができる？

### ●紫川でのカヌー体験(年間40回程度)

3月～10月の土日（指定日）に紫川で水面から水鳥になった気持ちで街を見てみませんか。（有料）

### ●川と水の音楽会(年4回)

川や水があるからから派生した音楽を聴いて癒される特別な音楽会です。

### ●絵本のじかん(毎月1回程度)

自然の美しい絵と人の声に乗ったお話を目と耳で楽しむ時間、子どもに媚びない絵本を読みます。

### ●紫川流域での様々な体験活動

川流れ体験や、生き物調査、キッズクラブなど自然体験活動で「生きる力」を育てましょう。（有料）

### ●ホールを利用したイベントの協働開催

水環境館に相応しいコンサートや講演会、朗読劇など、観察窓前で特別な演出ができます。（有料）

### ●生き物にふれてみる（タッチプール）

知ることより感じる事が大切です。生き物にふれてみて感性や想像力を育てます。

## お問い合わせ先

### 北九州市水環境館

〒802-0007 北九州市小倉北区船場町 1 - 2 | TEL:093-551-30111 | メール: [uchimura@mizukan.info](mailto:uchimura@mizukan.info)



住所	北九州市小倉北区熊谷2丁目5-1
アクセス	西鉄バス「第一熊谷町」下車、徒歩5分
営業時間	9:00～17:00（最終見学受付：16:30）
入館料	全て無料
休館日	毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
駐車場	あり（10台ほど、全て無料）

公式ウェブサイト



<https://hotarukan.jimdofree.com/>

## どんな施設？

1980年（昭和55年）、小倉北区にある小熊野川に30匹のゲンジボタルが飛んだことから始まった北九州市のホタル保護。その原点の地である小熊野川の近くにある「北九州市ほたる館」は、【ホタルと水辺の生き物を通して、水辺環境について楽しく学べる施設】として2002年（平成14年）に開館いたしました。ホタルを含め日本に生息する種を中心に約60種類の小動物を展示しており、生き物を通じて命や水辺環境について親子で学び、考えることができる施設です。



## 何ができる？

### ●ホタルの生体を観察することができる

5月～6月に成虫、7月～4月には幼虫の生きているホタルを観察することができます。

### ●ホタルの発光を昼間見ることができる

成虫はもちろん、全国でも珍しい幼虫の発光行動を昼間見ることができる施設です。

### ●約60種類の小動物を観察することができる

ホタルを含め、哺乳類・両生類・爬虫類・昆虫など約60種類の小動物を観察することができます。

### ●生き物について学ぶイベントを実施

ホタルの生態や北九州市のホタル保護について親子で学んでもらう「親子で学ぶホタル講座」や様々な動物にまつわるテーマで行う「生き物講座」、体験型イベントの「体験！ほたる館ラボ」といった生き物について学ぶイベントを実施しております。

### ●生き物にまつわる特別展示会を実施

年2～4回、様々な生き物をテーマにした特別展示会を実施しております。

## お問い合わせ先

指定管理者：九州造園・グリーンワーク・しらすやまと共同事業体

〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷2丁目5-1 | TEL:093-561-0800 | メール：hotaru@hotarukan.jp

住所	北九州市小倉南区平尾台1-1-1
アクセス	JR石原町駅より車で約15分
営業時間	9:00～17:00 (冬季12月～2月の営業時間は10:00～16:00)
入園料	無料
休園日	毎週火曜日(祝日振替休日の場合、翌日休園)、年末年始
駐車場	あり(普通車¥300 大型車¥1,000)

公式ウェブサイト



<https://cocokite-yokatta.jp/>

## どんな施設？

ソラランド平尾台(平尾台自然の郷)は、日本有数のカルスト台地・平尾台に広がる、自然と人とのふれあいや地域活動との交流、そして景観との調和をテーマにした自然体験型公園です。広大な園内には、有料のアスレチック施設や遊具広場、RVパーク&ドッグラン、キャンプ場のほか、そば打ちや陶芸が体験できる工房、宮崎牛を味わえるレストラン「山のとらや」などがあり、家族で一日中楽しめます。

さらに、ケイビング(洞窟探検)やトゥクトゥクによるガイドツアーなど、平尾台ならではの自然を満喫するアクティビティも充実しています。

**ソラランド平尾台**  
SOLA LAND HIRAODAI  
平尾台自然の郷



## 何ができる？

### ●平尾台ガイドツアー

ガイドと一緒に平尾台の旅に出ましょう！参加人数や、ご希望に合わせて最適なコースをご案内します。

### ●ケイビング体験

自然のままの真っ暗な洞窟の中に、ヘルメットやキャップライトを付けて入っていくわくわくする探検です。

### ●トゥクトゥクガイドツアー

南国リゾートのような雰囲気が漂う三輪自動車“トゥクトゥク”に乗って、平尾台の大自然をのんびり周遊する特別なガイドツアーです。

### ●手ぶらBBQ(要予約)

宮崎牛チャンピオン農家直営のお肉を大自然の中で堪能できる本格BBQです。食材やBBQ機材の持ち込みは不要ですので気軽にBBQを楽しめます。

### ●平尾台テラス(ドッグラン&RVパーク)

平尾台テラスでは、『平尾台』の絶景の中でワンちゃんと一緒にキャンプやBBQができる『RVパーク』や小型犬、中型犬、大型犬それぞれに分かれたエリアで各犬種が安心して遊べる西日本最大級のドッグランを備えています。

### ●キャンプ場

平尾台の雄大な自然の中でキャンプを楽しめるのが魅力です。特に眺望の良さが特徴です。

## お問い合わせ先

運営会社／ハートランド平尾台株式会社

〒803-0180 北九州市小倉南区平尾台1-1-1 | TEL:093-452-2715 | メール: [park@hiraodai.jp](mailto:park@hiraodai.jp)



住所	北九州市小倉北区山田町
アクセス	JR南小倉駅より車で10分(徒歩30分)
営業時間	9:00～17:00
入園料	無料
休園日	毎週火曜日（祝日振替休日の場合、翌日休園）、年末年始
駐車場	あり（普通車300円、中大型車1000円）

公式ウェブサイト



<https://kq-machinakanomori.com>

## どんな施設？

山田緑地は「30世紀の森づくり」をテーマとして1000年をかけて豊かな自然を守り、保全・活用する広大な都市公園です。

小倉都心部から近く、豊かな自然の散策、芝生広場では「せせらぎ」や「ネット遊具」、ピクニックを楽しむ公園として利用することができます。希少な野に咲く草花を守り、ゲンジボタルやカスミサンショウウオの生息地を保全することをはじめ、生き物調査を継続して行うことで、環境学習や体験に結びつけ、多くの講座やイベントを開催しています。

また、焚き火体験やニホンミツバチの飼育体験、ほたる祭など里地里山を活かした取り組みを通して、森づくりの魅力や生き物との共生の大切さを感じることでできる公園です。

山田緑地は、子どもから大人まで公園利用を通してSDGsの主に「陸の豊かさ」を自ら考え、体験することのできる大切な時間を提供します。



## 何ができる？

### ●芝生やせせらぎでのびのび

ピクニックや遠足、スポーツ利用が可能で、せせらぎではじゃぶじゃぶ遊び、ネット遊具や丸太わりで親子の冒険遊びができます。

### ●池やもりでわくわく

めだかの学校やカエルの合唱、オタマジャクシをはじめ、草花や野鳥の観察、森の散策と自然の癒しを体感できます。

### ●日本最大級のログハウスでうきうき

会議や研修、ヨガや太極拳、ピアノの部屋で音楽会、多目的ホールで交流イベントなど有料でお部屋利用ができます。

### ●カフェでいこい

ログハウスから自然や芝生、せせらぎを眺めながら森をイメージしたコーヒーやスイーツ、軽食を楽しむことができます。

### ●生き物や焚き火の講座

もりの観察会やバードウォッチング、サバイバルに役立つ焚き火体験などの各種講座を通して自然や里地里山の実感を体感できます。

### ●もりやSDGs関連イベント

山田のもりフェスタやワクワクカーニバル、ほたる祭りや水祭り、全国ミツバチフォーラムに参加してSDGsに貢献できます。

## お問い合わせ先

山田緑地管理事務所(九州造園・グリーンワーク・しらすやまと共同事業体)

〒803-0865 北九州市小倉北区山田町 TEL：093-582-4870 メール：user@yamada-park

住所	北九州市八幡東区東田2-4-1
アクセス	JRスペースワールド駅より徒歩5分
営業時間	9:00~17:00（最終入館16:30）
入館料	大人：600円、高・大学生：360円、小・中学生：240円、未就学児：無料
休館日	年末年始、毎年6月下旬ごろ
駐車場	あり（普通車30分100円）

公式ウェブサイト



<https://www.kmnh.jp/>

## どんな施設？

46億年前の地球誕生から現代に至る自然と人間のいのちの歩みを壮大なスケールで展示した、西日本最大級の自然史・歴史博物館です。迫力ある恐竜の骨格標本が一堂に並んでおり、動く恐竜ジオラマでは太古の世界を体感できます。貴重な歴史資料も充実し、人々の暮らしの変遷を知ることができます。子どもから大人まで、一日中楽しみながら学べる博物館です。



## 何ができる？

### ●貴重な資料多数

全長35m世界最大級の恐竜骨格標本などが大集合！大迫力の動く恐竜ロボットで当時の様子を再現。

### ●さわれる展示

館内には、実際にさわることが出来る展示があり、より楽しみながら学ぶことができる。

### ●来館記念になる体験学習

団体の方を対象に歴史や理科の教科書に沿った解説付きで「化石レプリカづくり」や「勾玉づくり」などの体験ができる。

### ●秋の特別展開催中！

12月7日まで秋の特別展「べらぼう」におもしろい印刷展を開催中。江戸時代を中心に印刷や出版文化の歴史と魅力を紹介。

### ●令和4年度にリニューアル

開館20周年を記念して、全長15mの最大級肉食恐竜「スピノサウルス」や西日本では常設展示として初の、全長4m越えの大ナマケモノ類「エレモテリウム」を新たに展示。

## お問い合わせ先

北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）

〒805-0071 北九州市八幡東区東田2-4-1 TEL:093-681-1011 | メール: inochi2002@kmnh.jp



住所	北九州市若松区竹並1006
アクセス	自動車（北九州市営バスでのアクセス可、詳細はHP参照）
営業時間	9:00～17:00（夏季、冬季の営業時間等はHP参照）
入園料	一般150円   小・中学生70円   7割減免対象高齢者40円   未就学児無料
休園日	火曜日（祝日等により休園日が変更になる場合があります）
駐車場	あり（普通車300円）

公式ウェブサイト



<https://hibikinadagp.org/>

## どんな施設？

北九州市立響灘緑地/グリーンパークは、「水・緑・そして動物たちとのふれあい」をテーマとした市内最大の公園です。リアス式海岸のような複雑な水際線をもつ頓田貯水池。この大きな池を包み込む樹林地の中にグリーンパークは位置しています。

グリーンパークといえば大芝生広場。数々のイベントが開催される市内最大級の開放的な空間です。その周囲は季節の花々に彩られ、個性的な遊び場、動植物とのふれあい空間が広がります。足を延ばせばサイクリングやボート遊びも満喫できます。もちろんカフェやBBQ、キッチンカーなど食も充実！

1日では遊びつくせないほど、魅力満載の公園です。



## 何ができる？

### ●都市緑化センター

花と緑の専門家が常駐する相談所の他、イベントホールや講習室を備えます。各種講座も開催。

### ●熱帯生態園

熱帯の樹木や花、日本最大の蝶・オオゴマダラ、カピバラなど人気の生きものたちの姿を観察できます。

### ●カンガルー広場

全国最大級！約350頭のカンガルーが暮らす広場。その生態を間近で感じ、ふれあうことができます。

### ●ポニー広場

ポニー乗馬や馬車、えさやり体験を楽しめます。週末にはヤギー＆ポニーショーも開催します！

### ●季節の花々、バラ園

季節を彩る色とりどりの花々。なかでも春と秋のバラ園は圧巻！約510種3100株のバラが咲き誇ります。

### ●子どもの遊び場

世界最長の100人ブランコはじめ、3種類のすべり台や砂場、チョークで落書きやボルダリングも！

### ●空中冒険遊具あみ〜ご！など

大人気の空中冒険遊具あみ〜ご！、響灘ディノパークに続いて、今秋には巨大立体迷路も登場予定！

### ●サイクリング&ボート

木漏れ日のなかをのんびりサイクリング。かわいいサイクルボートやおもしろ自転車も楽しめます！

## お問い合わせ先

響灘緑地管理事務所／業務企画課（グリーンパーク活性化共同事業体）

〒808-0121 北九州市若松区竹並1006 | TEL:093-741-5545 | メール: [gp\\_kikaku@oriconsul.com](mailto:gp_kikaku@oriconsul.com)

住所	北九州市八幡西区香月西四丁目6番1号
アクセス	筑豊電鉄 筑豊香月駅より徒歩5分   西鉄バス 筑鉄香月停留所より徒歩4分
営業時間	9時から17時
入館料	無料
休館日	水曜日（水曜日が休日の場合は、その翌日）、年末年始
駐車場	あり（無料 普通車20台 大型バスも駐車可）

## 公式ウェブサイト



<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/05101142.html>

## どんな施設？

北九州市西部にある八幡西区香月・黒川地区は、北九州市内有数のホタルの飛翔地です。そんな黒川の近くにある「香月・黒川ほたる館」は、ホタルをはじめとした水生生物など、水辺環境について学ぶ場であるとともに、地域のホタル保護活動の拠点施設でもあります。時期によっては、ホタルの卵や幼虫も観察できますし、常時、身近な川の魚や水生生物を展示しています。ちょっと水辺の生き物を見たいと思ったら、気軽に立ち寄って身近な水辺の生き物を、ゆっくり観察してみませんか。



## 何ができる？

### ●驚きのホタル模型

大きなホタル模型がお出迎え。卵、幼虫、さなぎ、成虫の形態及び発光を観察できます。

### ●ホタルのひみつを学べる

ホタルの種類や発光のしくみ、ゲンジボタルの生態などをパネルや図鑑でわかりやすく紹介しています。

### ●日本と世界のホタルを知る

日本をはじめ、世界中に分布するホタルをパネルで紹介。北九州市内で確認された9種も学べます。

### ●黒川の魚たちに出会える

黒川流域に生息する約30種類の魚類などを展示。珍しい魚もいて、地域の自然を身近に感じられます。

### ●飼育作業室で保護活動を見学

ホタルの幼虫やホタルのエサとなるカワニナの飼育などを行っています。

### ●イベントで学習室(地域交流室)を使う

事前の予約で各種会議や勉強会、地域の集まり等で利用ができます。（有料：減免制度あり）

## お問い合わせ先

北九州市立香月・黒川ほたる館

〒807-1103 北九州市八幡西区香月西四丁目6番1号 | TEL:093-618-2727



このネットワークで、皆さんの取組を  
「ネイチャーポジティブ経営」へ  
つなげていきませんか？

## “北九州ネイチャーポジティブネットワーク” 参加企業・団体募集中！

豊かな自然と共に暮らせるまち、北九州。この魅力を未来へつなげるため、企業・団体・教育機関・個人などがつながり「ネイチャーポジティブ」な取組を広げるネットワークを立ち上げました。アイデアや活動を持ち寄り、共にネイチャーポジティブを実現する場です。

### ネイチャーポジティブって、なに？

「ネイチャーポジティブ」とは、自然環境を守るだけでなく、失われた自然をよみがえらせ、未来に向けて自然の恵みを回復していく考え方です。北九州市では、都市のすぐそばにある豊かな自然＝「アーバンネイチャー北九州」を活かし、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

### こんな方や団体におすすめ！

- ネイチャーポジティブに関心があり、自社・団体としてできる活動を知りたい
- 環境CSRや地域連携に取り組みたい
- 他の企業・団体の取組を知り、連携や情報交換の機会を得たい
- 関連の政策動向や資金支援などの情報をキャッチしたい
- 地域の自然資源を活かした事業や連携に関心がある
- 北九州の自然や地域資源を広報・ブランディングに活かしたい

### ネットワークでできること

北九州ネイチャーポジティブネットワークでは、こんな活動を行います。

- 会員の取組を「アーバンネイチャー北九州」ポータルサイトで紹介
- ネイチャーポジティブに関する政策・資金などの最新情報を提供
- 勉強会やワークショップで、事例や実践知を共有
- 自然関連施設・団体との連携や協働のきっかけづくり
- 他の企業・団体との交流や情報交換

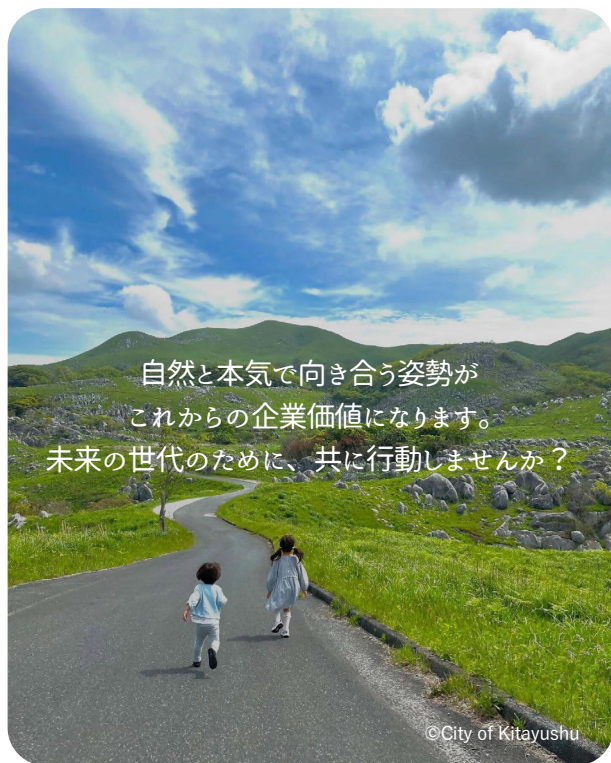
### 参加資格

企業・団体・教育機関・研究者・個人など、どなたでも参加できます。会費は無料です！



登録は  
こちらから！

ご興味を持たれた方は、  
ぜひお気軽にご参加ください。  
皆さまの取組が、  
地域と未来に届きます。



自然と本気で向き合う姿勢が  
これからの企業価値になります。  
未来の世代のために、共に行動しませんか？

©City of Kitayushu

### 北九州ネイチャーポジティブネットワーク

会員企業・団体（個人会員はのぞく） 2025年11月7日時点・順不同

(株)丸清	九州大学うみつなぎ
ホクザイ運輸(株)	(株)井筒屋
(株)ブリヂストン	西部ガスグループ
(株)エコプラン研究所	北九州市立大学
(株)イマナガ	(株)TOMUSHI
一般社団法人うみつなぎ	(株)西原商事
響灘ビオトープ共同事業体	(株)ビートルエンジニアリング
九州環境エネルギー産業推進機構	
NPO法人北九州ビオトープ・ネットワーク研究会	
公益財団法人地球環境戦略研究機関	

株式会社  丸清  MARUSEI CO., LTD.

IGES  
公益財団法人  
地球環境戦略研究機関



アーバンネイチャー  
北九州

## 「北九州の自然ポータル」ウェブサイト

市内の自然体験スポットやネイチャーポジティブに関するイベント情報などをたっぷりご紹介しています。また、今後は北九州ネイチャーポジティブネットワークの会員企業・団体の取組事例などの発信も予定しています。

さらに、自然や生き物のフリー写真素材も公開中。広報や資料づくりに  
もご活用いただけます。



<https://nature-kitakyushu.com/>



アクセスはこちらから

本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。  
今後、北九州市におけるネイチャーポジティブの取組をより発展させていくために、  
皆様のご意見をぜひお聞かせください。

アンケートは、下記の QR コードの読み取り、  
または以下のリンクからご回答いただけます。

### アンケート回答フォーム



<https://forms.gle/ZAddZT9QonLuMYWy9>



北九州市ネイチャーポジティブセンター事務局  
(公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 北九州アーバンセンター)  
E-mail: [kitakyushu-info@iges.or.jp](mailto:kitakyushu-info@iges.or.jp) | TEL: 093-681-1563